



## 12月は地球温暖化防止月間です

地球の大気中に含まれる二酸化炭素(CO<sub>2</sub>)などの温室効果ガスの増加によって地球の温度が年々上昇する「地球温暖化」。温暖化によって自然災害の増加や動植物、農・水産物への影響などが心配されています。

温暖化の主な原因は、私たちが生活するために石油、石炭などの化石燃料を燃焼することで大気中にCO<sub>2</sub>が排出され、その量が増加しているためです。温暖化を防止するには、私たちの生活を見直しCO<sub>2</sub>の排出を減らす取り組みに努める必要があります。

私たちにもできる！！

環境にも 財布にもやさしい取り組み

### ① 暖房の温度を1℃低く 冷房の温度を1℃高く設定すると...

年間で約33kgのCO<sub>2</sub>を削減(スギの木、2.4本分の年間吸収量)約1,800円の節約になります。ウォームビズを取り入れるなど、暖房の設定温度を工夫して過ごしましょう。

### ② 家族団らんで暖房、照明の利用を2割減らすと...

年間で約238kgのCO<sub>2</sub>を削減(スギの木、17本分の年間吸収量)約10,400円の節約になります。家族が別々の部屋で過ごす、暖房も照明も余計に必要になります。同じ部屋で団らんすることで照明などの利用を減らすことができます。

※環境省「身近な地球温暖化対策」より

## 毎月第4週は「ノーマイカー推進週間」

～月に1日、マイカー利用自粛の取り組みにご協力ください～

市および大村市地球温暖化対策協議会では、地球温暖化防止の取り組みとして、ノーマイカー運動を推進しています。

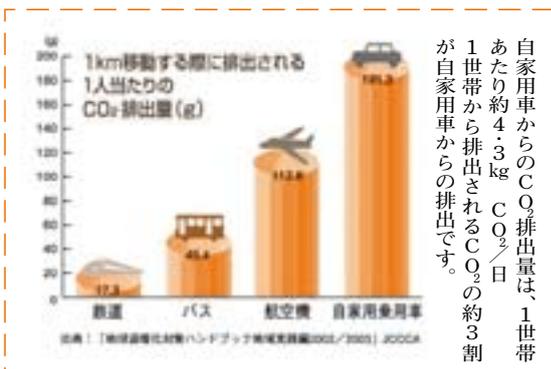
市全体の取り組みとして広く普及させるため、12月から毎月第4週を「ノーマイカー推進週間」とし、その週のいずれかの日に各事業所・個人の都合に合わせて、できる範囲で実施していただき、CO<sub>2</sub>削減につなげようというものです。

各事業所・団体、個人で自主的に実施できる日(曜日)を定めて取り組んでいただきますようご協力をお願いします。

地球温暖化防止のため

実施と参加登録をお願いします

この取り組みに賛同し、実施される個人・事業所を募集し、参加登録を行っています。登録は、市ホームページで受け付け、登録していただいた事業所は、市ホームページなどで公表します。



## やさしい環境講座参加者募集

私たちが出すごみや排水はどうなっているの？

身近な環境施設を見てみよう！

12月 8日(火)・・・坂口浄水場、萱瀬ダム  
1月12日(火)・・・浄水管理センター、清掃センター  
2月 9日(火)・・・長崎県環境保健研究センター

※時間はいずれも13:30～15:30

募集人数 各15人(先着順)  
受講料 無料  
申込方法 電話、QRコードでお申し込みください。



## 地球温暖化ポスター・標語コンクール入賞者 (敬称略)

### ポスターの部

市長賞 池田 智美 (西大村小6年)



地球温暖化対策協議会長賞 小島みゆ (福重小5年)  
 教育長賞 古賀千裕 (西大村小6年)  
 保健環境連合会長賞 高瀬由葉子 (大村小6年)  
 国際ソロプチミスト大村賞 山道知可 (萱瀬小6年)  
 佳作 奥村翔 (西大村小6年) 朝長葉 (西大村小6年)  
 中村考岐 (西大村小4年) 村田ひとみ (西大村小2年)  
 今村彩乃 (放虎原小6年)

### 標語の部

市長賞 松藤 久美 (玖島中3年)

エコをして 未来に残そう 青い地球

地球温暖化対策協議会長賞 朝里侑紀 (玖島中3年)  
 教育長賞 楠本清佳 (玖島中3年)  
 保健環境連合会長賞 松葉一樹 (玖島中3年)  
 国際ソロプチミスト大村賞 田川友加里 (郡中3年)  
 佳作 中村大樹 (玖島中3年) 古山ひかる (玖島中3年)  
 西尾若葉 ( " ) 北 彩乃 ( " )  
 黒板優里 ( " )

#### ★入賞作品展示

|          |                  |
|----------|------------------|
| 市コミセン    | 12月 1日(火)～10日(木) |
| 市役所1階ロビー | 12月11日(金)～18日(金) |
| 郡コミセン    | 12月21日(月)～28日(月) |

地球温暖化対策実行計画に基づく

## 温室効果ガス排出状況を公表します

市では、地球温暖化の防止を図るため、市の事務・事業で発生する二酸化炭素などの温室効果ガス排出量を基準年度(平成16年度)比6.2%削減を目標とする「大村市地球温暖化対策実行計画(第2期)」を策定し、排出抑制に努めています。市の施設から排出された平成20年度の温室効果ガス排出量を公表します。

#### 《温室効果ガスの排出量》

21,267.4t-CO<sub>2</sub> (基準年度比△5.07%)

#### 《ガス別の排出割合》

二酸化炭素93.7%、一酸化二窒素5.0%、メタン1.3%

#### 《排出量算定項目の状況》

- 基準年度と比較して増加した項目  
ガソリン、LPガス、公用車走行距離、一般廃棄物焼却量、廃プラスチック焼却量、下水処理量
- 基準年度と比較して減少した項目  
灯油、軽油、A重油、天然ガス、都市ガス、電気使用量

#### 《結果の分析》

排出量は、基準年度と比較して約5%減少していますが、この減少は市立病院が指定管理へ移行したことによるもので、その影響を除いて比較した場合は約11%増加しています。

排出量が減少した項目の中でも、市立病院分の影響を除くと、事業(施設)拡充などによって電気使用量は増加しています。総排出量のうち、電気使用および、プラスチック類の焼却に伴う排出量が約86%を占めていて、いずれも増加(電気1.7%、廃プラスチック焼却43.4%)していることで、全体として増加する結果となりました。

#### 《今後の対策》

この計画では、事業所や市民の皆さんから清掃センターに出される一般廃棄物量なども算定の対象となっていて、特にプラスチック類の焼却に伴う温室効果ガス排出量は大量になっています。排出量の削減には、ごみの減量化と分別回収も大変重要になります。

今後も、市の施設・設備の省エネルギー化や節電、各種燃料使用の節約などに取り組む一方、家庭や事業所などの節水やごみの減量化・分別の徹底などを一層推進していきます。皆様のご理解とご協力をお願いします。